

東京電機大学経営同友会 第50回 特別講演会

日時:平成30年10月18日(木) 17時00分~19時20分

受付開始 16時30分

会場:東京千住キャンパス1号館2階 丹羽ホール
埼玉鳩山キャンパス本館3階 第2会議室(テレビ中継)

研究紹介

『パワーエレクトロニクス研究室の取り組み』

— 学生と製作するEVカーの紹介 —

17時10分~17時50分

工学部 電気電子工学科 枘川 重男 教授

特別講演

『東京オリ・パラ後の日本V字回復に向けて』

— ポスト情報社会の到来 —

18時10分~19時20分

東京大学名誉教授 青山友紀 氏

【講演概略】

1964年の東京オリンピックにより新幹線や高速道路のインフラ整備が進み、3C(カー、クーラー、カラーテレビ)の普及による国民生活も向上し、日本の高度成長は加速した。この間日本の国力を示す数値はいずれも大きく拡大し、経済も何回かのバブル的好景気を迎えたが、2000年頃のバブル崩壊後は多くの指標が低下する一方である。人口、特に若い世代の減少、高齢化、産業力低下、大学力の低下等々、先進国から中進国への転落が止まらない状況である。そこで迎える2020年の東京オリ・パラは日本国力のV字回復の契機にしなければ日本の将来は暗いものになるであろう。そのためにはどのようなアプローチが必要であろうか。本講演では人類の歴史で繰り返されてきた技術と社会における「集中と分散」の視点からポスト情報社会の到来を概観する。



【青山友紀(あおやまとものり)】

1969年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。同年、日本電信電話公社入社。以降、電気通信研究所において情報通信システム、広帯域ネットワーク、4K超高精細映像、などの研究開発に従事。1973年より1年間米国MIT 客員研究員。1994年NTT光エレクトロニクス研究所所長。1995年NTT光ネットワークシステム研究所所長を歴任。1997年に東京大学に異動し、工学系研究科教授に就任。2006年3月に東京大学教授定年により4月に慶應義塾大学に転じ、デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構(DMC)教授、政策・メディア研究科特別招聘教授を経て、理工学部訪問教授を2017年3月まで務める。2006年4月より独立行政法人情報通信研究機構(NICT)プログラムディレクター、アドバイザーを2011年3月まで兼務。

【表彰等】

日本電信電話公社研究開発本部長表彰(1981年)、第9回電気通信普及財団テレコムシステム技術賞(1994年)、平成12年度情報通信月間志田林三郎賞、第47回前島賞(2001年)、電子情報通信学会論文賞(2002年/2004年)、電子情報通信学会業績賞(2004年)、(社)情報通信技術委員会情報通信技術賞総務大臣表彰(2004年)、情報化促進部門総務大臣賞(2007年)、IEEE COMSOC/KICS Exemplary Global Service Award(2009)、平成22年度 科学技術分野 文部科学大臣賞、平成23年度 電子情報通信学会 名誉員、功績賞など

【現在】

東京大学名誉教授。工学博士(東京大学)。日本学術会議20期・21期会員、電子情報通信学会第86代会長、同学会フェロー・名誉員、IEEE Life Fellow。IEEE東京支部長を経て、2016年末までIEEE Japan Council Chair。新世代ネットワーク推進フォーラム元副会長、グローバルクラウド基盤連携技術フォーラム元会長、超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会(PIF)元会長、NPO法人デジタルシネマコンソーシアム(DCCJ)元理事長、NPO法人映像産業振興機構(VIPO)理事。NPO法人ブロードバンドアソシエーション理事長。

※なお、本講演は工学研究科の「総合技術特別講義」の一環として行われます。

参加費無料 ◆お問い合わせ 東京電機大学経営同友会 事務局 TEL:03-5284-5145 Fax:03-5284-5242

e-mail: doyukai@jim.dendai.ac.jp

主催:東京電機大学経営同友会 共催:学校法人 東京電機大学/一般社団法人 東京電機大学校友会